

とみや議会だより

第38号



- 令和7年度 補正予算 P3
一般質問 P5
委員会活動 P12

▲明石台小学校金管バンド

2026年(令和8年) 2月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい議会だよりを目指して～
UD FONT
by MORISAWA ユニバーサルデザインフォント
を使用しています。



年頭のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
富谷市民の皆さまにおかれましては、ご家族や大切な
方々とともに、穏やかな新春をお迎えのことと、心より
お慶び申し上げます。

さて、本年は午年であります。

午は、力強く駆け抜ける姿から「前進」「成長」「活力」
を象徴する干支とされております。市議会といたしまし
ても、これまで積み重ねてきた取り組みを土台に、さら
なる飛躍を目指す一年にしたいと考えております。

富谷市は、子育て環境の充実や教育の推進、地域コ
ミュニティの醸成などを通じ、住み続けたいまち、住み
たくなるまちづくりを進めてまいりました。一方で、少
子高齢化や社会環境の変化など、将来を見据えた課題に
も的確に対応していく必要があります。だからこそ市議
会は、子どもたちの未来を何よりも大切にし、市民の皆
さまの声をしっかりと受け止め、執行部と緊密に連携し
ながら、熟議を重ね、富谷市のさらなる発展と市民福祉
の向上に全力で取り組み、誰もが安心して暮らし続けら
れる富谷市の実現に向け、責任ある議論と行動を重ねて
まいります。

市制施行10周年にあたり、市民の皆さまが、富谷に暮
らすことに対する喜びと誇りを感じられる一年となりますよ
う、午年の力強さに願いを託したいと存じます。

結びに、本年が富谷市民の皆さま一人ひとりにとって、
健康で心豊かな実り多い一年となりますこと、そして富
谷市が未来へ向かつて力強く前進する年となりますこと
を心より祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

富谷市議会
議長 畠山和晴

令和7年度

一般会計補正予算

令和7年第4回定例会は、11月28日から12月10日までの13日間で開かれました。

までの13日間で開かれました。
国の物価高騰対策として、地域振興商品券交付事業、物価高対応子育て応援手当支給事業等に14億5661万円を増額する令和7年度一般会計補正予算や富谷市図書館条例の制定等を審議しました。

また12人の議員が市政について一般質問を行い、活発な議論が繰り広げられました。

総合計画基本構想

問 財政フレームについての記載がありませんが、実施計画とともに3年間の財政計画を立て、その指針を示し、説明しながら進めていきます。

答 記載はしていませんが、実施計画とともに3年間の財政計画を立て、その指針を示し、説明しながら進めていきます。

問 人口フレームについての見解は。

答 第1次に掲げた目標が、予想よりも自然増が鈍化していますが、社会増で補つて増やします。現状を踏まえた中で、現実的な数値を基本構想に盛り込みました。



クマ対策用誘引樹木伐採作業業務委託

問 クマ対策委託料800万円の算定根拠は。

答 一本2万円、400本で想定しています。

問 伐採後、各自での処分は厳しいのでは。

答 今回は緊急対策としての執行です。その旨、ご理解と納得の上で申請していただいていますが、今後、検討します。

農作物有害鳥獣等駆除事業

は。協議会の対策実施隊へ、出勤手当として1時間あたり、イノシシで1150円、クマは1500円となります。

学校関連



問 置工事の詳細は。

答 東向陽台中学校と吉台中学校について、体育馆と本校舎の間の連絡通路に夜間開放対策の間仕切りを施行するもので

問 連絡通路間仕切り設置工事の詳細は。

答 東向陽台中学校と吉台中学校について、体育馆と本校舎の間の連絡通路に夜間開放対策の間仕切りを施行するもので

学校給食センター賄料費について

答 物価高騰のため給食の材料費も高騰していることから、予算を増額補正をするものです。

●●●補正予算の主なつかいみち●●●

○地域振興商品券交付事業

3億9万円

物価高騰対策として、地域経済の活性化および市民の消費活動の支援として全市民を対象として市内登録店舗で使用できる商品券5,000円を配布。

○物価高対応子育て応援手当支給事業

2億2,574万円

物価高の影響を受けている子育て世帯を支援するため、児童手当支給対象児童を養育する父母等を対象に子ども一人あたり20,000円を支給。

○高齢者物価高騰対策支援事業

6,767万円

物価高騰の影響を受けている高齢者への支援として、65歳以上の高齢者一人あたり5,000円を給付。

○住民税非課税世帯物価高騰対策支援事業

5,973万円

物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯への支援として、一世帯あたり5,000円を給付。

○障害者手帳所持者物価高騰対策支援事業

1,264万円

物価高騰の影響を受けている障害者手帳所持者への支援として、一人あたり5,000円を給付。

第4回定例会(11/28~12/10) 議案採決結果一覧

議 案		賛成	反対	議決結果	小松 大介	須藤 義	伊藤 嘉樹	富山 由美	荒谷 敏	菊池 美穂	渡邊 清美	佐藤 浩崇	塩田 智明	菅原 福治	金子 透	浅野 直子	長谷川 る美	出川 博一	青柳 信義	渡邊 俊一	村上 治	畠山 和晴	
富谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市ユートミヤ条例の制定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市民図書館条例の制定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市手数料条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市放課後児童健全育成事業の設備に関する基準を定める条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市一般会計補正予算(第6号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
土地の取得の変更について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第2次富谷市総合計画基本構想の策定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更に係る協議について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の取得について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の給与に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市一般会計補正予算(第7号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第2号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第4号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市下水道事業会計補正予算(第2号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和7年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
富谷市議会傍聴規則の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
小松大介議員に対する議員辞職勧告決議(案)	15	0	原案可決	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

○賛成 ×反対

※議長(畠山和晴)は採決に加わりません。

市政を 問う

一般質問

第4回定例会では12人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を6ページから11ページまで発言順に掲載しています。

文章については、議員自ら作成していますので、原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

6P 浅野 直子 議員

- がん対策とインフルエンザ予防接種費用助成について
- 出産育児一時金の助成についての見解は

8P 佐藤 浩崇 議員

- 市民サービスの向上と職員の働き方改革の両立について

10P 菊池 美穂 議員

- 不登校児童生徒の健康診断の機会の確保について

6P 金子 透 議員

- 高齢者・障がい者外出支援を問う

8P 須藤 義 議員

- 地名の由来を活かしたまちづくり
- 学校での文化芸術鑑賞について

10P 長谷川 る美 議員

- 親なき後の支援について
- クマ出没への対応強化と鳥獣被害防止対策について

7P 出川 博一 議員

- 令和8年度予算編成方針は
- 子育て支援について

9P 青柳 信義 議員

- 富谷市高齢者保健福祉計画の課題について

11P 小松 大介 議員

- 生き物との共生を目指す田園都市構想を
- 遺跡発掘調査の現状と保存の可能性は

7P 畠山 由美 議員

- 市民センター化について

9P 荒谷 敏 議員

- 鳥獣等の被害防止および市民安全対策について
- 米政策における一等米比率向上について

11P 伊藤 嘉樹 議員

- 紙が存在しない市役所の実現について

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 がん対策とアピアランスケアは

答 柔軟に対応していきたいです

討していきます。

がん治療も日進月歩で進み、早期発見、早期治療はさまざまな支援により日々の生活を安心して過ごすことが出来る要因でもあります。本市における現状の助成費用の拡充と、若年性がん患者に対する相談体制、情報発信など大変重要です。

厚労省の統計では、乳がん羅患者は9人に1人の割合です。現在、マンモグラフィーとエコーの併用の研究も進められておりのことから、40歳以上の希望者へ、エコー費用の助成を求めるものです。

問 マンモグラフィーとエコーの併用に対する費用の一部助成については。

答 がん発見率の向上に寄与する検査方法でもありますから、国の指針見直しの状況や他市町村の動向を注視し、今後、検

度通知しました。

問 アピアランスサポート事業の医療用ウイッグ費用の現行2万円助成を

他市同様の3万円ぐらいまでの拡充については。

答 県内他の市に、3万円の上限があることから検討をしたいと思います。

問 乳がん検診の受診率の状況と啓発は。

答 市の住民健診のみで



15・4%ですが、職域検診が反映されると高い受診率になります。また、未受診の人間に11月に再

答 在宅療養に必要なサービス利用料の一部費用を助成する若年がん患者在宅療養支援事業は、令和6年から導入し、1か月あたり利用額7万円を上限とし、自己負担1割負担で各種サービスを利用できます。

答 デマンドタクシーの利用地区の拡大を検討すべきと考えますが見解は。

答 デマンド型交通については、富谷市地域公共交通会議の承認に基づき決定しており、基本的に

シートの利用できない地区で外出支援を受けられない方は多数おられると思います。行政の原則の一つである平等、公平の観点から質問します。

問 デマンドタクシーの利用地区を、現在のよう

にした根拠は。

答 令和2年10月の市民バス再編の際、市民ニーズにお応えし、便数を増加するなど充実強化を図

るとともに、交通空白地域となる市内東部地区、

北部地区を利用地区とし、市民バスの代替手段として運行を開始しました。

券を選択する制度、導入についての見解は。

答 同様の手紙やメールも頂いています。市民の皆様が望んでいることなので充実させるため、バスの路線を検討したりデマンド型交通のエリアの拡大の検討もしています。

答 同様の手紙やメールも頂いています。市民の

皆様が望んでいることな

ので充実させるため、バ

スの路線を検討したりデ

マンド型交通のエリアの

拡大の検討もしています。

前向きに取り組みますので、ご理解ください。

問 外出支援にタクシー券の検討をします

答 デマンドタクシーの利用地区の拡大を検討すべきと考えます。

問 デマンドタクシーの利用地区の拡大を検討すべきと考えます。

答 デマンド型交通については、富谷市地域公共交通会議の承認に基づき決定しており、基本的に

シートの利用できない地区で外出支援を受けられない方は多数おられると思います。行政の原則の一つである平等、公平の観点から質問します。

問 デマンドタクシーの利用地区を、現在のよう

にした根拠は。

答 令和2年10月の市民バス再編の際、市民ニ

ーズにお応えし、便数を増加するなど充実強化を図

るとともに、交通空白地

域となる市内東部地区、

北部地区を利用地区とし、市民バスの代替手段として運行を開始しました。



金子 透 議員

問 令和8年度の予算編成方針は

答 第2次総合計画がスタート

方針は、根幹的な歳入は市税収入が転入人口や個人所得の増加などの要因により増加が見込まれるが、一方、歳出において義務的な経費である人件費、扶助費および公債費の増加が見込まれるほか、公共施設の老朽化対策の経費が見込まれると記載されています。

度も約5000万円の予算規模で工事を予定しています。

さらに、泉中央までの基幹公共交通として、都市型自走式ロープウェイの調査研究に取り組みます。また、成田二期東・西地区や明石台第二期東地区の住宅団地を整備し良好な住宅地を提供して人口増へつなげます。

来年4月の基本協定締結に向けて東北医科薬科大学と協議をしている「(仮称)富谷メディカルセンター」の立地を契機とした地域医療体制の充実などに取り組みます。

問 募集要項では、予算の範囲内で補助金を交付と明示、公表されているが

答 都市構造再編集中支援事業を活用するというのが前提です。上限が

21億円で事業者が7億円、国が7億円、富谷市が7億円、必然的に満額の上限の21億円を国からの支援をいただくためにどうしても負担しなければいけない金額です。土地の無償貸与と併せて、国の制度を使うために必要な負担で、計画的に確保しながら準備をしていきます。開館準備状況は。

答　来年5月1日の開館を目指して開館準備業務を進めています。(11月29日現在進捗率73・6%)

問　図書館等複合施設の開館準備状況は。





出川 博一 議員

問 市民センター移行へのメリットは

答 にぎわい創出や交流の輪を広げる

令和8年度に「公民館」が「市民センター」として生まれ変わり、より多くの人が集い、「人づくり」・「つながりづくり」・「地域づくり」の新たな交流拠点として「輪づくり」の場となります。

問 公民館から市民センターへの移行によるメリットは。

答

- ①参加費や受講料等を徴収して行うコンサートの開催や、各種講座の利用が可能となります。
- ②予約は1時間単位で、3カ月前より可能となります。
- ③市民活動団体の登録制度を新設し、使用料減免や、PR活動を支援します。

【プレイルーム】の休日開放を求める声がありますが。

答 安全にご利用いただきため、人員の確保が必要となりますので、将来的な課題とします。

問 月や年に何度か、詰み聞かせ会や、手作りやもちゃで遊ぶ会の検討はミニヤーでそのような企画を予定しております、軌道に乗りましたら、市民センターでも実施できるか検討します。

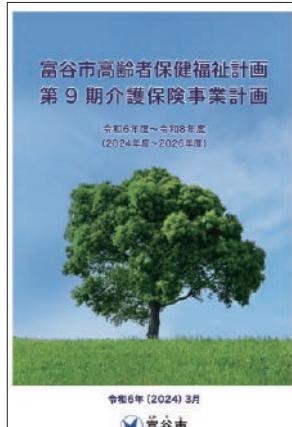
問 利用者からWi-Fi環境整備を求める声がありますが、どこか一つの部屋からでも進められませんか。

答 一部屋でも高額な工事費と、月々の固定費用が

A photograph of the Toyohashi City Museum of Art. The building is a modern concrete structure with a prominent curved roofline. A green roof garden is visible on the upper part of the roof. The entrance features a ramp and glass doors. The sky is clear and blue.



島山 由美 議員



問 独居・認知症高齢者への支援は

答 生活支援の体制整備など努めます

高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく生涯を過ごせる社会の実現のために、医療、介護、支援が包括的に確保される体制として地域包括ケアの整備が求められています。

本市の高齢化率は県内市町村の中で最も低い状況にありますが、令和5年において高齢化率が22・5%となり、超高齢化社会を迎えています。

令和7年には団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者となるほか、団塊ジュニア世代が65歳以上

となる令和22年頃には市民のおよそ3人に1人が高齢者となり、地域社会に複雑化・複合化していくことが予想されます。

問 新興住宅地と旧市街地での高齢化率は。

答 富谷中央・あけの平圏域は32・8%、富ヶ丘・日吉台圏域は28・9%、東向陽台・成田圏域は15・5%と圏域毎に差異が生じています。

本市の高齢化率は県内市町村の中で最も低い状況にありますが、令和5年において高齢化率が22・5%となり、超高齢化社会を迎えています。

問 訪問介護、通所介護の担い手不足に対する介護人材の確保や若年層の参入を促すための施策は。

答 国の方針を踏まえ、宮城県や関係機関と連携、地域の実情に即した介護人材の確保に努めます。



青柳 信義 議員

問 クマ等被害および市民安全対策は

答 被害防止対策を適切に実施します

今年は市内各所にクマ等の鳥獣出没が相次いでおり、毎日のように目撃されています。

9月12日に御所橋付近でクマに襲われるという衝撃的な被害が発生しており、周辺には小学校をはじめ公共施設が存在することから子どもたちの安全を心配する声があり、安全確保は重要な課題となっています。自然と共に生しつつ市民の安全安心を守るため、今後の鳥獣等対策の強化、市民への

情報提供のあり方などが増えます。

問 出没情報の場所がわかりにくいので、ピンボ

イントで知らせてほしい。答 目撃場所を特定できるよう目印や公共物など

情報をあり方などと合わせて規格外と判定された実例がありました。農業経営と地域ブランド力を維持継続するためにも品質向上を図る必要があり、実効性を高めるためにも具体的な対策が急務と考



▲二ノ関町内で撮影



荒谷 敏 議員

問 米政策一等米比率向上について

答 一等米比率向上に向け検討します

農家の方が出荷された米が一等米はもとよりす

べて規格外と判定された

実例がありました。農業

経営と地域ブランド力を維持継続するためにも品

質向上を図る必要があり、

を行い、一等米比率の向

上に向けて、農協と検討

を行った結果、市としても関与して進めていきました。

問 品質向上へ向けて農家の方々への支援策や予算編成方針は。

答 今まで行ってきた補助に加え、集約・集積を行った効率化を含めた補助

を行った結果、市としても関与して進めていきました。

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられる子どももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学



菊池 美穂 議員

問 親亡き後の支援について

答 次期計画に盛り込んでいきます

問 「老障介護」の増加についての認識は。

答 全国的な課題と認識し、次期計画策定に向けたアンケートで、実態を把握し、支援の充実を図ります。

問 地域生活支援拠点の機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

答 地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

①相談支援体制の現状と機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

②地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

①地域福祉課職員、計画相談支援事業者、基幹相談支援センター等が連携し、緊急時に支援が見込める世帯を事前に把握・登録し、常時の連絡体制を確保しつつ、緊急事態等のサービスの調整や相談支援を行っています。課題は、緊急事態を

解消に努力していただきたい。大阪府吹田市の事例などを参考に、早急に仕組みを整えるべきです。

問 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談等に結びつける仕組みを整備する考えは。

答 ばらつきがあるのは、大変好ましくない状況です。黒川医師会との協議を進め、校長会や養護教諭の研修会などでも、柔軟な対応の重要性を強く訴え続けていきます。

問 「老障介護」の増加についての認識は。

答 全国的な課題と認識し、次期計画策定に向けたアンケートで、実態を把握し、支援の充実を図ります。

問 地域生活支援拠点の機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

答 地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

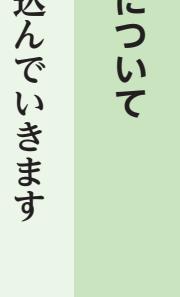
①相談支援体制の現状と機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

②地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

問 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談等に結びつける仕組みを整備する考えは。

答 ばらつきがあるのは、大変好ましくない状況です。黒川医師会との協議を進め、校長会や養護教諭の研修会などでも、柔軟な対応の重要性を強く訴え続けていきます。

その他その他



長谷川る美 議員

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

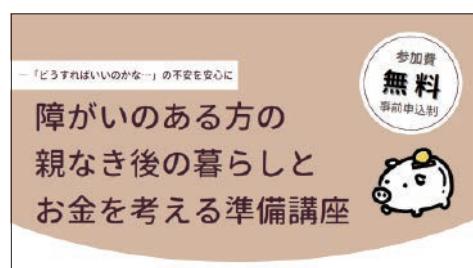
虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学



を見据えた継続的な支援体制の強化です。

②黒川3町村で共同設置している基幹相談支援センターを中心に、各相談支援事業所等と連携し支援体制を構築しています。

また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向け、黒川3町村や県の保健所などと連携して、地域の課題整理を進めています。その中で、精神障害に対応できる医療機関やグループホームの確保が必要と認識しています。今後は新たに開設された診療所や、将来整備予定の医療機関とも連携し、医療体制およびグループホームの整備・充実に取り組んでいきます。

問 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談等に結びつける仕組みを整備する考えは。

答 他自治体の取り組みも参考にしながら導入について検討します。

問 「老障介護」の増加についての認識は。

答 全国的な課題と認識し、次期計画策定に向けたアンケートで、実態を把握し、支援の充実を図ります。

問 地域生活支援拠点の機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

答 地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

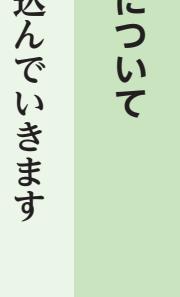
①相談支援体制の現状と機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

②地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

問 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談等に結びつける仕組みを整備する考えは。

答 ばらつきがあるのは、大変好ましくない状況です。黒川医師会との協議を進め、校長会や養護教諭の研修会などでも、柔軟な対応の重要性を強く訴え続けていきます。

その他その他



長谷川る美 議員

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

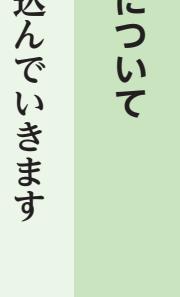
答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学

その他その他



長谷川る美 議員

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

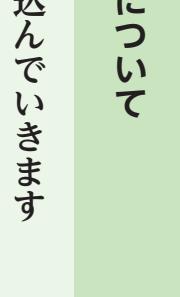
答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学

その他その他



長谷川る美 議員

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

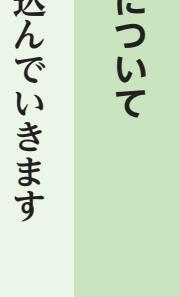
答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学

その他その他



長谷川る美 議員

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

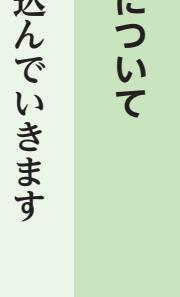
答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学

その他その他



長谷川る美 議員

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

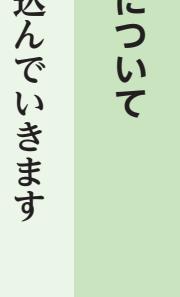
答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学

その他その他



長谷川る美 議員

問 不登校児童生徒にも健診の機会を

答 黒川医師会との協議を進めます

不登校児童生徒の人数は全国で増加しており、とりまく環境整備は喫緊の課題です。一方、学校の健康診断は、学校保健安全法に基づき、学校医が主に学校で行っています。このため登校できな

校92人、中学校138人、合計230人です。

答 健康診断の受診率は。

全ての項目を受診した割合は小学校69・1%、中学校29・0%で、全ての項目を受診しなかった割合は、小学校2・1%、

中学校12・3%です。

答 不登校児童生徒の健康状態をどのように把握していますか。

虐待の痕跡などが見逃さない児童生徒は受診が難しく、早期治療が必要な病気などの発見が遅れる懸念があり、重大な疾患や、

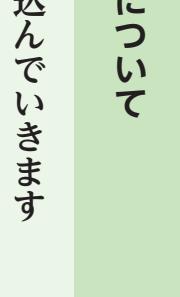
答 医学的な見地からの把握はできていません。

虐待はももいるとみられています。健診は義務教育期間の生活のためだけでなく、子どもたちがその後の長い人生を健康に生きていくためにも大変重要です。学習は後から取り戻せますが、健康は取り戻せません。子どもたちの健康を等しく守る観点から、質問します。

答 現在、全ての学校で対応が統一されていません。黒川医師会に対し、全ての学校で柔

軟に受診可能な対応に統一できるよう働きかけます。令和6年度は、小学

その他その他



長谷川る美 議員

問 親亡き後の支援について

答 次期計画に盛り込んでいきます

問 「老障介護」の増加についての認識は。

答 全国的な課題と認識し、次期計画策定に向けたアンケートで、実態を把握し、支援の充実を図ります。

問 地域生活支援拠点の機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

答 地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

①相談支援体制の現状と機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

②地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

問 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談等に結びつける仕組みを整備する考えは。

答 他自治体の取り組みも参考にしながら導入について検討します。

問 「老障介護」の増加についての認識は。

答 全国的な課題と認識し、次期計画策定に向けたアンケートで、実態を把握し、支援の充実を図ります。

問 地域生活支援拠点の機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

答 地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

①相談支援体制の現状と機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

②地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

問 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談等に結びつける仕組みを整備する考えは。

答 他自治体の取り組みも参考にしながら導入について検討します。

問 「老障介護」の増加についての認識は。

答 全国的な課題と認識し、次期計画策定に向けたアンケートで、実態を把握し、支援の充実を図ります。

問 地域生活支援拠点の機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

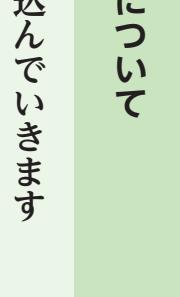
答 地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

①相談支援体制の現状と機能確保の一環として相談支援体制の現状と課題は。

②地域全体の支援体制づくりの現状と課題は。

問 「障がいのある方の親なき後の暮らしとお金を考える準備講座」を個別相談等に結びつける仕組みを整備する考えは。

答 他自治体の取り組みも参考にしながら導入について検討します。



長谷川る美 議

問 生き物が共生できる環境整備を

今年は熊の目撃報告の件数が例年に比べ桁違いに多い傾向にあります。一方で熊は保護の対象であり、今後も駆除と保護のバランスを取る必要があります。田園都市構想のモデル都市として全国にも注目されるような自然と都市が調和するまちづくりを望みます。

問 本市における熊出没の増加原因是。

答 熊の主食となるブナ科の果実が大凶作だったほか、さまざまの要因が絡んでいると推測しています。

問 熊を駆除するのは命がけの仕事ですので、駆除報償費等の補助金額はプラスの検討を。

答 危険性が高いというのは認識していますので他の自治体の状況も踏まえ、引き続き引上げるよ

生き物が共生する。
都市構想を。
もたちにシ
の魅力が居
区埋蔵文化財
で発掘された
世や縄文の痕
と考えます。
仔の可能性は
仔に値する学
なく、保存す
えていません
の醸成のため



A portrait of a man with dark hair and a beard, wearing a suit and tie, smiling.

問 紙が存在しない市役所の実現は

皆さんの中には、非常に身近な部分までデジタル化は進んでいます。また、世の中にはさまざまなデジタルツールが準備され、それらへ適切に対応できれば、省力化、効率化へつながります。これは民間に限らず、行政も同様です。地方自治体でもデジタル化が進んでおり、人口が50000人にも満たない比較的小規模な自治体でも積極的に進めていく先進事例はあり、本市においても他人事ではありません。そして、紙文書の保管は書庫等の機材やスペースを必要とし、つまり保管しているだけで税金がかかっているものと考えなければなりません。少子高齢化による生産年齢人口の大きな減少や市民ニーズの多様化

等により、市役所職務はさまざまな負担感を求めることが多いですが、増していきますが、その思想われます。この解決策は、デジタルへの早期対応であるは明白であり、それもって市職員の負担減し、魅力ある職場へ進し、新たに人材の募集へつなげては市民サービス大きな向上へ向かうと考えています。



▲庁舎内キャビネット



よりよいまちづくりのために

調査しました

(10月実施)

防災・危機管理スペシャリスト
養成プログラムについて
知識・対応力を市庁内で
標準化・継承する仕組みの構築
調査先：香川県 坂出市

◎調査日 10月31日
坂出市では、防災・危機管理体制の強化・人材育成を目的として、「スペシャリスト養成研修」が実施されています。自治体の持つ人員配置や部署間の連携不足、指揮命令系統の不明確さといった課題に対し、職員の防災・危機管理能力を体系的に高める好事例です。特に、縦割りではなく横串での職員の専門性向上を図る研修制度や実践的な演習は、本市でも取

「働き方改革推進プラン」について
望まない残業の
早期解消を目指す
調査先：大阪府 寝屋川市

総務常任委員会

※市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

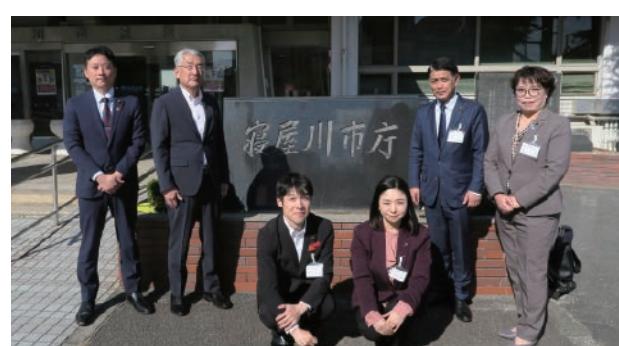


〈その他の調査先〉

◎調査日 10月30日 香川県 高松市
スマートシティたかまつについて

◎調査日 10月29日
大阪府寝屋川市では、「コアタイムなし完全フレックスタイム制度」や、「窓口専門職員の採用」「可変型窓口」などの『働き方改革推進プラン』を立ち上げ、全庁的な意識改革が進められています。多様できめ細かい支援が求められる昨今、職員の業務量が積み増す中、子育てや介護など家庭の事情を抱える職員も働きやすく、ワークライフバランスを整えることは重

要です。単なる労働時間の削減ではなく、「働き方の質」を高める工夫をしながら、持続的に成長する組織体制を構築するとともに、定期的な事業見直しによる選択と集中を徹底することは、より優秀な人材の確保や、市民サービスの向上、行政に対する信頼感の醸成にもつながります。本市ではどのような手法が適切か研究し、議論を深めます。



※教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

◎調査日 10月14日
震災・原発事故により一変した教育環境は、全く新しい取り組みにより人間の可能性と自由と遊びを運動させて育まれています。0歳から15歳（認定こども園から義務教育まで）を一体化したシームレスな教育施設は、幼児期の「あそび」から始まり、2022年

に義務教育学校「学び舎ゆめの森」では園児児童生徒9名でスタート、2025年7月98名となり、区域外就学が多い状況です。

教育理念を「温故創新」の下、ICT（AI型教材）を徹底的に活用し個性を活かし、探求・創造と共にで地域コミュニティも確立し整備さ

義務教育学校 大熊町立学び舎ゆめの森について 個性を活かし、「探求・想像力」を育む

調査先：福島県 大熊町



◎調査日 10月15日
水戸市中央図書館の基本は、「地域の知の拠点」として、学びを支え暮らすに役立つ、市民との協働による魅力ある図書館」を目指すことが示されています。中央図書館を直営し、他の5館を指定管理で民間のノウハウを活かした個性ある図書館運営です。

本市においても生きるための子どもの自主性、夢を育てる教育環境へもう少しシフトしていく必要があるのではないか。「こうあるべき」は、必要なのではないかと提言したいと思います。

図書館運営等について 市民協働の拠点へ デジタルも活かす

調査先：茨城県 水戸市



〈その他の調査先〉

◎調査日 10月16日 埼玉県 さいたま市
中高一貫校（さいたま市立大宮国際中等教育学校）について

また、デジタルアーカイブの整備に積極的に取り組み、郷土資料はデジタル化、GIGAスクールへの対応も行い「調べる学習」等の利用も増加しています。西部図書館は、外周400メートルの屋根付き歩道を備え、健康づくりの要素と図書の融合で大変ユニークなアイデアになつているため、市民利用も多く感じ取れました。

令和8年5月に開館する「ユートミヤ」も図書館の役割をしっかり機能させ、蔵書の納入内容も重要で、継続的な来館者を維持することなど期待を寄せて、今後注視していきたいと思います。

産業建設常任委員会

※経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

水道分野におけるスマートメーターの導入促進について 地域に最適な水道DXを目指して

調査先：愛知県 常滑市



◎調査日 10月30日

2016年に「無電柱化の推進に関する法律」が施行され、無電柱化の推進における自治体の責務が明確化されました。

東海市では、中部電力株式会社と共同研究協定を締結し、低コスト手法の技術的検証を行う委員会を設置しています。江

戸時代の町割りが残る狭い道路に対応するため、従来の電線共同溝方式ではなく、小型ボックス方式による新型電気共同溝が採用されており、舗装・照明・植栽など一体となった、歴史と文化を感じられる街づくりが進められています。

富谷市内においても、成田地区やひより台地区で地化が進められていますが、今後、本市の無電柱化推進にあたっては、膨大な費用を踏まえた導入地域の選定や、地域特性に応じた工事手法の検討が重要であると感じました。

無電柱化推進事業について 地域特性に応じた工事手法の検討が重要

調査先：愛知県 東海市

◎調査日 10月29日

水道分野のスマートメーターは、現地に赴かずして水道使用量データを自動で取得できることから、検針業務の効率化や漏水の早期発見など、水道事業の高度化に資する技術として注目されています。

常滑市では、国の補助金を活用し、中部国際空港や中部臨空都市において実証事業を実施しており、将来的には市街地への導入も視野に入っています。導入コストの高さといった課題はあるものの、検針データの効率的な取得や漏水把握の有用性など、先進的な取り組みとして学ぶ点が多くあります。



告知

ちょっと聞いてよ 議員さん

富谷市議会では、市民の代表機関として、開かれた議会の運営や市民福祉の向上、富谷市の発展を市民の皆様とともに目指しています。

議会についてお気づきの点がございましたら、ご意見、ご提案など、どんなことでも構いませんので皆様のお声をお聞かせください。

詳細につきましては、3月23日以降に富谷市議会HPをご確認ください。

○受付開始：令和8年4月1日

○受付方法：メールまたはFAX



令和7年度
黒川地方市町村議会
議員研修会

令和7年12月17日、黒川4市町村の議員が一堂に会して議員研修会が行われました。

今回は「子どもたちが輝くまちづくり！」と題して利府町文化交流センター「リフノス」センター長の野澤令照さんに講演をいただきました。大人たちが生き生きと地域で活躍し、笑顔で子どもと関わることが大切など、貴重なお話を聞くことができました。

請願と陳情の提出方法

市が行うことに関する意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。

また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることがあります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会HPをご覧ください。

陳情書

- 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書
宮城県春闌共闘会議 代表幹事 高橋 正行
- 国に国民の主食である米の価格統制をすることを求める意見書の提出に関する陳情書
社会の歪を鋭く追及政策提言する世直し集団「一輪のバラの会」 代表 加藤 克助
- 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情
一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章
全て議員配付となりました。

決議文 小松大介議員に辞職勧告

小松大介議員に対する議員辞職勧告決議

富谷市内の入浴施設を利用していた方より「議員のマナーについて」と題し、市長公室あてにメールが入りました。そのメールには、「とても不快で入浴をやめて帰りました」との文言があり、当該施設に確認したところ、令和7年11月13日、午後5時半頃、小松大介議員が当該施設のサウナ室にスマートフォンを持ち込み他の利用者に不快な思いをさせたことが判明いたしました。

このことについては、宮城県迷惑行為防止条例に該当する恐れのある事案であり、警察に通報されてもおかしくない行為です。さらに、富谷市議会基本条例及び富谷市議会政治倫理条例にも抵触する事案であるため、11月19日、議長室において議長及び副議長が事情聴取を行ったところ、小松大介議員はこの行為を認めました。

小松大介議員は、これまで二度にわたりその当時の議長及び副議長連名の文書による厳重注意を受けており、また、その他の素行についても口頭注意が幾度となく行われています。しかしながら、注意後における小松大介議員においては、全く反省の色が見られないと言わざるを得ず、その上、今回の件は小松大介議員個人の行いとはいえ、富谷市議会全体の信用や品位を著しく失墜させることになります。

公職にある者として責任は極めて大きく、市民の公共の福祉の向上を負託されている議員という立場で、ルール、マナーを遵守できないということは、社会的、道義的責任は決して看過できるものではありません。

これらのこととは、公職者としての自覚と、高い倫理性の保持を規定している富谷市議会基本条例第三条第三項及び富谷市議会政治倫理条例第一条、第二条第二項に抵触し、宮城県迷惑行為防止条例第二条及び第三条の二の三及び第三条の二第三項にも抵触することは明白であり非常に大きな問題行動と捉えます。

以上のことから、小松大介議員においては、議会議員としての責務に対する自覚に欠けていると言わざるを得ず、これまで、二度にわたる文書による厳重注意もあることから、市議会議員の職を辞するよう富谷市議会として強く勧告するものです。

令和7年12月10日

富谷市議会

令和7年11月14日に富谷市内の入浴施設を利用していた方より「議員のマナーについて」と題し、市長公室あてにメールがあり、令和7年11月13日、午後5時半頃、小松大介議員が当該施設のサウナ室にスマートフォンを持ち込み他の利用者に不快な思いをさせたことが判明いたしました。

このことについては、宮城県迷惑行為防止条例に該当する恐れのある事案であり、警察に通報されてもおかしくない行為です。さらに、富谷市議会基本条例及び富谷市議会政治倫理条例にも抵触する事案であるため、11月19日、議長室において議長及び副議長が事情聴取を行ったところ、小松大介議員はこの行為を認めました。

小松大介議員は、これまで二度にわたりその当時の議長及び副議長連名の文書による厳重注意を受けており、また、その他の素行についても口頭注意が幾度となく行われています。しかしながら、注意後においても全く反省の色が見られないと言わざるを得ず、その上、わざるを得ず、その上、今回の件は議員個人の行いとはいえ、富谷市議会全体の信用や品位を著しく失墜させることになります。

公職にある者として責任は極めて大きく、市民の公共の福祉の向上を負託されている議員という立場で、ルール、マナーを遵守できないということは、社会的、道義的責任は決して看過できるものではありません。

以上のことから、小松大介議員においては、議会議員としての責務に対する自覚に欠けているとするとして、全会一致で辞職勧告を決議しました。

議会報告会開催のお知らせ

開かれた議会を目指し、議会報告会を開催します。
今年より、3月の開催から、5月に変わります。

2026年(令和8年) 5月開催予定

◆日時、場所等詳細が決まり次第、富谷市議会HP等でお知らせします。
◆皆さんのご参加お待ちしています。

議員全員協議会を開催しました

令和7年10月21日

- (1)議会活動における今後の方向性について
 - ・議会運営委員会
 - ・議会活性化調査特別委員会
 - (2)黒川地方市町村議会連絡協議会研修会時の実行委員について
 - その他
 - ①常任委員会県外視察時の旅費について
 - ・令和7年度予算
 - ・令和8年度予算
 - ②議会だより(2月号)の集合写真について
 - ③議会HPの個人写真について
 - ④その他

令和7年11月21日

- (1) 提出予定議案等に関する案件
 - ① 富谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
 - ② 富谷市ユートミヤ条例の制定について
 - ③ 富谷市民図書館条例の制定について
 - ④ 令和7年度富谷市一般会計補正予算(第6号)
 - ⑤ 令和7年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)
 - (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
 - ① 富谷市クマ緊急対策パッケージについて
 - ② 第2次富谷市総合計画前期基本計画案について
 - ③ 第2次富谷市国土利用計画案について
 - ④ 公共ライドシェア実証運行について
 - ⑤ 市民バスの運行計画について
 - ⑥ 「令和7年度都市型自走式ロープウェイの導入可能性調査業務」の結果について
 - ⑦ 第2次富谷市男女共同参画基本計画案について
 - ⑧ 富谷保育所閉所について
 - ⑨ (仮称)富谷市子どもにやさしいまちづくり条例案について
 - ⑩ 富谷市と学校法人東北医科薬科大学との病院の開設及び

運営に伴う基本的事項に関する覚書締結について

- ⑪総合病院用地の取得について
(3)その他
①議会費の補正予算について
②議員発議について
③先例集の加除について
④黒川地方市町村議会議員研修会について

令和7年11月28日

- (1)市民からのメール「議員のマナー」について
(2)その他

令和7年12月3日

- (1)提出予定議案等に関する案件

 - ①職員の給与に関する条例の一部改正について
 - ②議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について
 - ③特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について
 - ④富谷市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について
 - ⑤令和7年度富谷市一般会計補正予算(第7号)
 - ⑥令和7年度富谷市市営墓地特別会計補正予算(第2号)
 - ⑦令和7年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
 - ⑧令和7年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第4号)
 - ⑨令和7年度富谷市下水道事業会計補正予算(第2号)
 - ⑩令和7年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)

(2)提出予定議案以外で説明を要する案件

 - ①第2次富谷市男女共同参画基本計画案について
 - ②富谷保育所閉所について
 - ③(仮称)富谷市子どもにやさしいまちづくり条例案について

(3)その他

小松大介議員に対する議員辞職勧告決議(案)について

12月28日 (1) 市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託に応えら
れる議会を目指し、調査をします。

(2) 調査項目について
・議会報告会についての手紙
・議会報告会について（令和8年5月開催）
・タブレットの導入について
・議会報告会のあり方例（出前授業・ワークシニップ等）
・議会だよりの内容の検討（委員会のページを増やす等）
・議会中継について（市内各公民館での放映等）

議会活性化調査特別委員会

令和7年10月24日、公益社団法人富谷市シルバーパートナーネットワークの長谷川理事長から、地域社会に貢献するセンターの決意と、補助金の確保や独自事業立ち上げへの支援、センターへの事業発注など、安定的な運営が可能となる各支援についての要望が提出されまし

富谷市議会議録画像配信URL

[https://tomiya-city.
stream.jfit.co.jp](https://tomiya-city.stream.jfit.co.jp)

富谷市議会インターネット



次回の定例会は
2月下旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。

TEL 022-358-0622



未来へはばたけ とみやつ子



本校は昭和53年4月に開校し、創立47年目を迎えました。今年度は児童数467名で、学校教育目標「心やさしく、たくましい子供の育成」を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。その中でも、本校の特色ともいえる「家庭・地域との連携」の取り組みの一端を紹介します。まずは「学

校支援ボランティア（丘小サポートー）」についてです。支援内容としては、「図書整備・読み聞かせ支援」「環境整備支援」「学習支援」「安全見守り支援」があり、富ヶ丘公民館を窓口にして、子供たちのために主体的に活動していただいております。次に、金管バンドです。お陰様で、全国大会10年連続出場を果たすことができました。これも偏に、保護者のご協力と地域の皆様のご理解があつての賜と思つております。感謝の言葉を尽します。

本校は昭和53年4月に開校し、創立47年目を迎えました。今年度は児童数467名で、学校教育目標「心やさしく、たくましい子供の育成」を掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。その中でも、本校の特色ともいえる「家庭・地域との連携」の取り組みの一端を紹介します。まずは「学



＜表紙紹介＞

明石台小学校金管バンド

明石台小学校金管バンドが全国大会に初出場！12月6日にさいたまスーパーアリーナで開催された第53回マーチングバンド全国大会で素晴らしい演技を披露しました。

編集後記

昨年12月に令和7年第4回定例会が終り、新年を迎えた。そして議会は今月2月に令和8年の第1回定例会を迎える。今年はいよいよ複合図書館「ユートミヤ」が開館を迎えるほか、総合病院や公共交通の件など、

富谷市は日々新しい変化を遂げています。その動きが市民の皆さんに少しでも分かりやすくお伝えできるよう、市議会議員で構成される私たち広報委員会も真摯に紙面づくりに取り組んでまいります。

みんなの広場

中学軟式野球の未来を創る

～富谷黒川ベースボールクラブ～

監督・櫻井直樹さん



部活動地域移行の受け皿として2025年に発足した中学軟式野球クラブです。現在28名の部員があり、富谷総合運動公園や市内小中学校の施設を中心に活動しています。中学校野球部顧問の先生方にもご理解いただきながら、指導者は主に中学校教員が務め、部活動とクラブ両方に所属している選手がほとんどです。しかし、中学校から野球を始める生徒もいるので『野球を楽しみたい！』という気持ちさえあれば誰でも参加ができます。日頃の練習に加え練習試合を多く行ったり県内外の大会等にも積極的に出場したりしています。チームスローガンは「進取果敢」。クラブとしては野球を通して人間的に成長すること最も重視しており、常に謙虚でありつつ新しいことに挑戦し、自ら考え決断し行動できる選手になることを求めています。今後はより一層、他のチームや地域の方々との関わりを大切にしながら、地元に愛され応援され続けるクラブになれるよう取り組んで参ります。